

名古屋大学医学部附属病院検査基準値一覧

ver1.0

略語	項目名	基準値	病態識別値	単位	わかること
ALB	アルブミン	4.1~5.1		g/dL	総タンパクの50~70%を占め、肝臓で作られています。肝臓の異常、栄養不足などで減少します。
LDL	LDLコレステロール	65~163	140以上 高LDL-C血症 日本動脈硬化学会	mg/dL	コレステロールを、肝臓から運ぶ役割を果たしています。高値は動脈硬化症の危険因子となっており、一般的に悪玉コレステロールと呼ばれています。
TG	トリグリセリド（中性脂肪）	男：40~234 女：30~117	150以上 高TG血症 日本動脈硬化学会	mg/dL	食事から吸収したものと肝臓で作られたものから成ります。過剰になると肥満や肝臓に脂肪がたまる脂肪肝を招きます。食後は高値になります。
UN	尿素窒素	8.0~20.0		mg/dL	体内でタンパクが分解された時、最後に尿素が作られ、尿中に排泄されます。腎機能や生体内でのタンパクの変化の目安となります。
CRE	クレアチニン	男：0.65~1.07 女：0.46~0.79		mg/dL	全身の筋肉内で作られ、尿として排泄されます。腎機能が低下すると、尿中に排泄されず、血液中で増加します。
Na	ナトリウム	138~145		mmol/L	人の体重の約60%は水分です。その水分中に溶けているミネラル成分で、水分の調節、神経刺激の伝達、筋肉の収縮などに重要な役割を果たします。
K	カリウム	3.6~4.8		mmol/L	
eGFR	推算糸球体濾過量	-		mL/分/1.73m ²	腎臓の濾過機能を推定する値です。血清クレアチニン値、年齢、性別をもとに計算されます。
Ca	カルシウム	8.8~10.1		mg/dL	心臓や神経、筋肉を動かすことに関係があります。
IP	無機リン	2.7~4.6		mg/dL	エネルギーを作り出すために必要な物質です。食事により摂取され、多くは骨に存在し、腎臓から排泄されます。腎機能や副腎皮質のホルモンによって変化します。
Mg	マグネシウム	1.8~2.4		mg/dL	体内における生化学的作用は多岐にわたり、酵素活性やエネルギー代謝過程に不可欠です。異常に増加した場合に筋力低下、低血圧、呼吸障害が起こる場合があります。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13~30		U/L	心臓・肝臓・筋肉・腎臓などに存在しています。心筋梗塞、肝・腎疾患などで増加します。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	男：10~42 女：7~23		U/L	肝臓・腎臓に多く存在しています。肝疾患で増加します。
T-B	総ビリルビン	0.4~1.5		mg/dL	崩壊した赤血球に含まれるヘモグロビンが脾臓で分解され、間接ビリルビンとなります。次いで肝臓で処理され直接ビリルビンとなります。この2つを合わせたものが総ビリルビンです。肝臓や胆のうに異常があると増加します。
CK(CPK)	クレアチンキナーゼ	男：59~248 女：41~153		U/L	筋肉・心臓・脳などに存在します。心筋梗塞や筋肉疾患の目安となります。また、運動によって高値を示すことがあります。
CRP	C反応性タンパク	0.00~0.14		mg/dL	体内に炎症が起きると肝臓で生成される物質です。感染症や慢性関節リウマチ、外傷などの目安の指標となります。
HbA1c	ヘモグロビンA1c (NGSP値)	4.9~6.0		%(NGSP)	赤血球中のヘモグロビンと糖とが結合したものです。過去1~3ヶ月の血糖の平均値を反映します。検査当日の血糖値には影響されません。
WBC	白血球数	3.3~8.6		×1000/ μ L	血液中の白血球の数値です。細菌やウイルスなどの病原体から防御する働きをしています。
NEU (数)	好中球数	-		×1000/ μ L	白血球の一種です。特に細菌を食べて体を守る役割があります。
Plt	血小板数	158~348		×1000/ μ L	血管が損傷したとき、血を止める役割を果たします。数が少ない場合、血が止まり難いことがあります。
Hb	ヘモグロビン量	男：13.7~16.8 女：11.6~14.8		g/dL	赤血球中に含まれる成分で、酸素と結合する機能があります。量が低下すると貧血となります。
PT-INR	プロトロンビン時間 国際標準化比	-			ワーファリン投薬のモニタリングに使用します。

多数の健康な人を検査して得られた結果を集め、95%の人が含まれる範囲を求めたもので、基準範囲ともいいます。

基準値： したがって、健康な人であっても5%の人は基準値から外れることになります。

また、この表は名大病院で使用している基準値であり、他の病院とは若干数値が異なるものもあります。

病態識別値： 予防医学的な面から一定の対応が要求される検査閾値です。